

2014年（平成26年度）複数年サイクル点検評価レポート【施策評価】

分野名	Ⅱ-4(2) 健康で安心して暮らせる社会の構築（良好な水環境を確保するために）	施策 No.	22	施策名	大阪湾の環境改善
-----	---	--------	----	-----	----------

目的、内容	海への関心と浜辺の親水性の向上に努める（自由に海とふれあえる場の整備や直立護岸の緩傾斜化を検討、アマモ場等の保護再生） 多様な水生生物が育つ魅力ある大阪湾を実現する（水生生物の生育・生息にとって望ましい水質の調査研究の実施、環境改善） 2020年目標：多様な生物が棲む、豊かな大阪湾にする。 底層 DO（溶存酸素量）5mg/L 以上（湾奥部は 3mg/L 以上）を達成する。 藻場を造成する。（藻場面積 400ha を目指す）					
副次的効果、外部効果等	漁業生産の増大を通じて、産業振興、地域の活性化に資する。					
関係法令、行政計画等	水質汚濁防止法、府生活環境の保全等に関する条例：工場、事業場排水の規制 瀬戸内海環境保全特別措置法 瀬戸内海の環境の保全に関する大阪府計画					
国等の政策、社会情勢等	<ul style="list-style-type: none"> 現在、国会で瀬戸内海環境保全特別措置法の改正について審議中。また、国は瀬戸内海環境基本計画の変更について検討中。 現在、中央環境審議会水環境部会専門委員会で、底層 DO 等の環境基準設定について検討中。 					
施策実施に要したコスト（職員人件費を除く）	事業のコスト（千円）	2011年度（決算額）	2012年度（決算額）	2013年度（決算見込額）		
	環境目的の事業費	51,146	45,873	12,989		
	本施策が主たる目的であるもの	347,921	99,625	222,715		
	本施策が従たる目的であるもの	0	0	0		
取組指標及び実績（施策効果の定量評価）	名称	把握方法	実績			
	① COD、T-N、T-P の発生負荷量	大阪府環境白書掲載データ	2010年度 COD 67t/日、T-N 63t/日、T-P 4.1t/日 2011年度 COD 65t/日、T-N 62t/日、T-P 3.8t/日 2012年度 COD 62t/日、T-N 59t/日、T-P 3.7t/日			
	② 底層 DO（溶存酸素量）5mg/L 以上（湾奥部は 3mg/L 以上）を達成	同上	2011年度 達成3地点/12地点、各地点最小値の平均値：湾奥部 1.2mg/L、その他 3.4mg/L 2012年度 達成3地点/12地点、各地点最小値の平均値：湾奥部 0.9mg/L、その他 3.7mg/L 2013年度 達成3地点/12地点、各地点最小値の平均値：湾奥部 2.3mg/L、その他 3.9mg/L			
	③ 藻場面積	同上	2011年度 360ha、2012年度 362ha、2013年度 365ha			
工程表の進捗状況	工程名	進捗状況*	主な事業の名称	事業の実施状況		
	総量削減計画/総量規制（第7次計画に基づく総量削減）	☆☆	総量削減計画の策定及び進行管理	第7次総量削減計画の基準年度（2009年度）に比べ、発生負荷量は減少 COD 2009年度 65t/日→2012年度 62t/日 T-N 2009年度 61t/日→2012年度 59t/日 T-P 2009年度 4.0t/日→2012年度 3.7t/日		
	藻場、干潟の再生					
	藻場・干潟の造成による環境改善	☆☆	港湾建設事業（環境） 沿岸漁場整備開発事業	緑地整備、生息環境形成や水質浄化を図るための人工干潟を整備 魚介類の産卵場、稚仔魚の育成場である増殖場を造成（2011年 0.6ha、2012年 0.6ha、2013年 3.0ha）		
	活動を通じて府民の親水性向上を促進	☆☆	魚庭（なにわ）の海づくり大会 大阪府環境保全協議会の活動	イベントを通じて、美しく豊かな大阪湾を府民の手で取り戻す活動への取組みを呼びかけを行った。（来場者数は 2011年 10,000人、2012年 3,000人、2013年雨天中止） 府民と連携した環境保全活動の実施 イベント等における大阪湾の環境を学ぶ機会の提供		
	砂浜の再生（マールビーチ沖等での覆砂）	☆☆	藻場造成（2011年度）	覆砂・アマモ移植を行い、藻場を造成。2012年度からは NPO 法人環境教育振興技術会に無償委託を行いモニタリング、アマモの播種、アオサの除去などのソフト面での取組みを行っている。（2013年、アマモの種まきを地元小学生 30名が実施）		
	底質の改善（海底耕耘の実施等）	☆☆	海底耕耘事業	春・秋の年2回、海底を攪拌して底質を改善（府内24漁協） 約300ha/年		
	窪地対策（窪地埋め戻しのモニタリング、埋め戻しの順次実施）	☆☆		堺市・岸和田市・貝塚市沖で計 282万 m ³ 埋戻しを実施（2013年度末、残量約 1,647万 m ³ ）		
	※進捗状況：☆☆☆計画以上の進捗/☆☆計画どおり/☆計画以下の進捗/△計画とは異なる事業内容で進捗					
	評価	評価	理由等			
施策目的の達成状況		現状の底層 DO の達成率は 25%である	底層 DO について、湾奥部は H23：1.2 mg/L → H25：2.3mg/L、その他は H23：3.4 mg/L → H25：3.9mg/L と改善傾向にあり、今後も目標達成に向け取組を推進。藻場面積については増殖場の造成などにより少しずつ増加している。			
事業・工程の進捗状況		計画どおり進捗				
計画見直し又は改善事項	見直し・改善点の有無	見直し・改善点の内容等				
	目標	無				
	施策の方向・主な施策	無				
	工程表	無				
	その他の改善事項	無				
関係課室	環境管理室、水産課、都市整備部					

環境総合計画部会委員による点検（所見）	点検評価手法の適正さについて	評価結果について	計画の見直し又は改善方針について
	点検評価の手続きについては、概ね妥当である。	評価については、概ね妥当である。ただし、以下の点についてはさらなる検討が必要。 ・COD、T-N、T-Pに関するデータの有意差についての詳細な検討	見直し・改善の方針については、概ね妥当である。